

Syllabus 2024

— 教育課程と年間授業計画 —

2 学年



広島市立舟入高等学校

目 次 (2 学年)

教育課程 (2 学年)	1
【国語】	
論理国語 (普通、国際コミュニケーションコース)	2
古典探究 (普通 (文型)、国際コミュニケーションコース)	4
古典探究 (普通 (理型))	6
文学探究 (普通 (文型))	8
【地理歴史】	
世界史探究 (普通、国際コミュニケーションコース)	10
日本史探究 (普通、国際コミュニケーションコース)	12
地理総合 (普通、国際コミュニケーションコース)	14
【公民】	
公共 (普通、国際コミュニケーションコース)	16
【数学】	
数学Ⅱ・数学B・数学C (普通 (文型)、国際コミュニケーションコース)	18
数学Ⅱ・数学B・数学C (普通 (理型))	20
【理科】	
物理基礎 (普通 (理型))	22
物理 (普通 (理型))	24
化学 (普通 (理型))	26
生物基礎 (国際コミュニケーションコース)	28
生物 (普通 (理型))	30
地学基礎 (普通 (文型)、国際コミュニケーションコース)	32
【保健体育】	
体育 (普通、国際コミュニケーションコース)	34
保健 (普通、国際コミュニケーションコース)	36
【外国語】	
英語コミュニケーションⅡ (普通、国際コミュニケーションコース)	38
論理・表現Ⅱ (普通)	47
【英語】	
英語総合Ⅱ (国際コミュニケーションコース)	52
【国際理解】	
第二外国語 (フランス語) (国際コミュニケーションコース)	57
第二外国語 (中国語) (国際コミュニケーションコース)	60
第二外国語 (韓国・朝鮮語) (国際コミュニケーションコース)	63
【芸術】	
美術Ⅱ (普通 (文型))	66
【総合的な探究の時間】	
A B L E T i m e	68

令和5年度入学生教育課程

科目名についた丸数字は週あたりの授業時間数です。

枠内に2つ以上の科目名がある場合は科目を選択することになります。

表の横軸は週あたりの授業時間数を表しています。

【普通科 普通】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
第1学年	現代の国語②	言語文化③	歴史総合②	数学Ⅰ②	数学A②	数学Ⅱ①	化学基礎②	生物基礎②	体育③	保健①	芸術Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ③	論理・表現Ⅰ②	家庭基礎②	情報Ⅰ②																			
第2学年	文科型	論理国語②	古典探究③	公共②	地理総合②	日本史探究③	世界史探究③	数学Ⅱ③	数学B②	数学C①	地学基礎②	体育②	保健①	文学探究② 世界史探究② 芸術Ⅱ②	英語コミュニケーションⅡ④	論理・表現Ⅱ②																		
	理科型	論理国語②	古典探究②	公共②	地理総合②	数学Ⅱ②	数学B②	数学C②	物理基礎②	物理③	生物③	化学③	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅡ④	論理・表現Ⅱ②																		
第3学年	文科型	論理国語②	古典探究③	日本史研究④ 世界史研究④ 地理探究④ 政治経済④ ※上記より2科目				数学演習A④	数学演習B② 芸術Ⅲ② 芸術研究②	生物演習②	化学演習② 地学演習②	体育②	英語コミュニケーションⅢ④	論理・表現Ⅲ②																				
	理科型	論理国語②	古典探究②	日本史探究④ 世界史探究④ 地理探究④ 政治経済④	数学Ⅲ④	数学演習1④	数学演習2③	物理④	生物④	化学④	体育②	英語コミュニケーションⅢ④	論理・表現Ⅲ②																					

1年の芸術Ⅰは「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1つ選択します。(国際コミュニケーションコースも同様)
「自立活動」については、別途定めるものとする。

【普通科 国際コミュニケーションコース】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
第1学年	現代の国語②	言語文化③	歴史総合②	数学Ⅰ②	数学A②	数学Ⅱ①	化学基礎②	体育③	保健①	芸術Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ③	論理・表現Ⅰ②	英語総合Ⅰ①	第二外国語①	家庭基礎②	情報Ⅰ②																		
第2学年	論理国語②	古典探究③	公共②	地理総合②	日本史探究③ 世界史探究③	数学Ⅱ③	数学B②	数学C①	生物基礎②	地学基礎②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅡ③	英語総合Ⅱ②	第二外国語①																			
第3学年	α	論理国語②	古典探究③	日本史研究④ 世界史研究④ 地理探究④ 政治経済④ ※上記より2科目				数学演習A④	生物演習②	化学演習② 地学演習②	体育②	英語コミュニケーションⅢ④	英語総合Ⅲ②	第二外国語②																				
	β	論理国語②	古典探究③	日本史研究④ 世界史研究④ 地理探究④ 政治経済④ ※上記より2科目				数学演習C②	Public speaking②	英語演習② 芸術研究②	翻訳演習②	体育②	英語コミュニケーションⅢ④	英語総合Ⅲ②	第二外国語②																			

第2外国語は「フランス語」「中国語」「韓国・朝鮮語」から1つ選択します。(3年間同一言語を学習する)
「自立活動」については、別途定めるものとする。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選論理国語(東京書籍)</p> <p>副教材 文学国語セレクション(東京書籍)、新訂五訂 カラー版新国語便覧(第一学習社)、頻度順 入試漢字の総練習 三訂版(三省堂)、評論・小説を読むための新現代文単語 改訂版(いっすな書店)</p> <p>問題集 改訂版 力をつける現代文(標準演習)(数研出版)、進研WINSTEP 現代文2 新課程版(ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1「ミロのヴィーナス」 2「分人とは何か」 3「メディアの変容」 4「文章を読み比べるために」 (「山月記」との読み比べ)	考查 課題テスト	考查 課題テスト 小テスト	週課題 振り返りシート 小テスト
	評価点	200点	200点	200点
後期	5「言語と記号」 (「相手依存の自己規定」との読み比べ) 6「『である』ことと『する』こと」 7「『である』ことと『する』こと」と「ところ」との読み比べ 8「地図の想像力」	考查 課題テスト	考查 課題テスト 小テスト	週課題 振り返りシート 小テスト
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1「ミロのヴィーナス」 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	20
	5	2「分人とは何か」 ・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	
	6	◆-----第1回考査	
		3「メディアの変容」 ・挙げられている事例と筆者の分析の關係に注意して読み、人間關係の在り方について考えを深める。	
	7	4「文章を読み比べるために」	
	8	・文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 (「山月記」との読み比べ)	
	9	・近代化の中での人間關係の変化や自己認識の在り方について比較し、李徴が虎になったのはどうしてか、を考える。	
		◆-----第2回考査	
後期	10	5「言語と記号」 ・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 (「相手依存の自己規定」との読み比べ) ・具体的な事例と筆者の意見の關係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	15
	11	6『『である』ことと『する』こと』 ・例示と意見の關係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	
	12	◆-----第3回考査	
	1	7『『である』ことと『する』こと』と「ところ」との読み比べ ・近代日本社会における人間の価値の変化や精神性について、登場人物の心理的葛藤を捉えて考えを深める。	
	2	8「地図の想像力」 ・提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ・国語の力、とりわけ評論文の読解の力は、国語という教科の枠を超えた総合的な学力の基礎であることを生徒にも強く意識させ指導にあたる。 ・授業で出会った文章が契機となり、関連するテーマを扱った新書(評論文)を生徒が主体的に読むよう指導を工夫する。 ・読解の基本を確認しながら学習をすすめる。文脈における語意を捉えるといった、表現に即した丁寧な読解と、論展開を意識し主題をまとめるといった、全体の内容を大きく捉える読解の両方を大切に(部分と全体の往還)。 ・文章のテーマを、常に自己の問題として捉えることを大切に、さらに、小論文への接続、(総合的な探究)などの他教科との有機的なつながりを生徒に意識させ指導にあたる。 ・大学入学共通テストへの対応も念頭に、文学的文章と論理的文章との読み比べを行い、読解の一体的な指導を目指す。
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3単位
		学年等	2年生 文科型、国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選古典探究 古文編(三省堂), 精選古典探究 漢文編(三省堂)</p> <p>副教材 カラー版新国語便覧(第一学習社), 解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社), 古文単語330(いわずな書店), 古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート(数研出版), 古典文法習得のための敬語マスターノート(数研出版), 漢文必携チェックノート応用編(桐原書店)新訂五訂</p> <p>問題集 力をつける古文ステップ2(数研出版), 力をつける漢文ステップ2(数研出版), 進研 WINSTEP 古典2(ラーズ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古典に用いられている言葉の特徴や使い方などへの理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 7. 物語「初冠」「小野の雪」(『伊勢物語』)	<p>考查 課題テスト 小テスト</p>	<p>考查 課題テスト</p>	<p>提出物 振り返りシート</p>
	評価点	200点	200点	200点

後期	8. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 9. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) 10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 11. 物語「花山院の出家」「弓争い」(『大鏡』) 12. 史伝「完璧帰趙」「刎頸之交」(『史記』)	考查 課題テスト 小テスト	考查 課題テスト	提出物 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 当時の宮中の様子や筆者の立場を理解し、随筆に表現された筆者の考え方や価値観を読み取る。	30	
	5	2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。		
	6	3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ----- 第1回考查 -----		
	7	4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。	20	
	8	5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 登場人物の性格や心情、考え方を読み取る。		
	9	6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る。		
	9	7. 物語「初冠」「小野の雪」(『伊勢物語』) 物語中の和歌の役割について理解し、物語に描かれた人間のありようを考える。 ----- 第2回考查 -----		
	後期	10	8. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 物語の設定や、構成、展開を理解し、登場人物の心情を読み取る。	25
		11	9. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) それぞれの文章に表現された主張を読み取る。	
12		10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。 ----- 第3回考查 -----		
1		10. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。	30	
2		11. 物語「花山院の出家」「弓争い」(『大鏡』) 同じ題材を扱った物語を読み比べ、物語の多様性について考える。		
2		12. 史伝「完璧帰趙」「刎頸之交」(『史記』)		
3		作品の背景を理解し、それぞれの登場人物のおかれた立場や心情を読み取る。 ----- 第4回考查 -----		

5 その他

古典作品には、現代とは異なる文化や価値観の中で、人々がどのように生き、考えてきたのかが表れている。多くの古典作品を読むことで、当時の人々の心情や価値観を理解するとともに、現代を生きる自分自身や日本人の価値観についても深く考えさせたい。古文では『源氏物語』『枕草子』など中古を中心とした作品、漢文では、『史記』を中心に、本格的な古典作品を学習する。1年生で学習した語法、語彙等に関する基礎事項を踏まえながら、正確な訳出、解釈に必要な知識を段階的に学習し、確かな基礎力につなげていく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2単位
		学年等	2年生 理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 精選古典探究 古文編(三省堂), 精選古典探究 漢文編(三省堂)</p> <p>副教材 カラー版新国語便覧(第一学習社), 解釈のための必携古典文法 三訂新版(啓隆社), 古文単語330(いづな書店), 古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート(数研出版), 古典文法習得のための敬語マスターノート(数研出版), 漢文必携チェックノート応用編(桐原書店)新訂5訂</p> <p>問題集 力をつける古文ステップ2(数研出版), 力をつける漢文ステップ2(数研出版), 進研 WINSTEP 古典2(ラーンズ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>古典に用いられている言葉の特徴や使い方などへの理解を深め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。</p>	<p>「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。</p>	<p>言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。</p>
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』)</p> <p>2. 史伝「鴻門之会」(『史記』)</p> <p>3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』)</p> <p>4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』)</p> <p>5. 史伝「四面楚歌」(『史記』)</p> <p>6. 小話「不顧後患」(『説苑』)</p>	<p>考查 課題テスト 小テスト</p>	<p>考查 課題テスト</p>	<p>提出物 振り返りシート</p>
	評価点	200点	200点	200点

後期	7. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 8. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) 9. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 10. 物語「花山院の出家」(『大鏡』) 11. 史伝「完璧帰趙」(『史記』)	考查 課題テスト 小テスト	考查 課題テスト	提出物 振り返りシート
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1. 随筆「二月つごもりごろに」「雪のいと高う降りたるを」(『枕草子』) 当時の宮中の様子や筆者の立場を理解し、随筆に表現された筆者の考え方や価値観を読み取る。	20	
	5	2. 史伝「鴻門之会」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。		
	6	3. 随筆「ゆく河の流れ」(『方丈記』) 随筆に表現された筆者の考え方を読み取る。 ----- 第1回考查 -----		
	7	4. 日記「あこがれ」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) 日記に表現されたできごとと、作者の心情を読み取る。	13	
	8	5. 史伝「四面楚歌」(『史記』) 登場人物の性格や心情、考え方を読み取る。		
	9	6. 小話「不顧後患」(『説苑』) 作品の内容を理解し、小話のもつ面白さを読み取る。 ----- 第2回考查 -----		
	後期	10	7. 物語「光源氏の誕生」「北山の垣間見」(『源氏物語』) 物語の設定や、構成、展開を理解し、登場人物の心情を読み取る。	17
		11	8. 文章「漁父辞」(『古文真宝』) それぞれの文章に表現された主張を読み取る。 ----- 第3回考查 -----	
		12	9. 思想と寓話「孟子」「老子」「莊子」「韓非子」 儒家と道家、それぞれの考え方を読み取り、思想の違いを理解する。	
1		10. 物語「花山院の出家」(『大鏡』) 同じ題材を扱った物語を読み比べ、物語の多様性について考える。	20	
2		11. 史伝「完璧帰趙」(『史記』) 作品の背景を理解し、それぞれの登場人物のおかれた立場や心情を読み取る。		
3		----- 第4回考查 -----		

5 その他

古典作品には、現代とは異なる文化や価値観の中で、人々がどのように生き、考えてきたのかが表れている。多くの古典作品を読むことで、当時の人々の心情や価値観を理解するとともに、現代を生きる自分自身や日本人の価値観についても深く考えさせたい。古文では『源氏物語』『枕草子』など中古を中心とした作品、漢文では、『史記』を中心に、本格的な古典作品を学習する。1年生で学習した語法、語彙等に関する基礎事項を踏まえながら、正確な訳出、解釈に必要な知識を段階的に学習し、確かな基礎力につなげていく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	文学探究	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)文学的な文章の読解を通じて、語感を磨き語彙を豊かにするとともに、文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深める。</p> <p>(2)仲間との協働的活動を通じて、他者を意識した表現力を高めるとともに、自己の思いや考えを広げ、論理的思考力や豊かな想像力を伸ばす。</p> <p>(3)さまざまな文学的な文章の読解を通じて、言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	・「文学国語セレクション」(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	言葉の、想像や心情を豊かにする働きを理解し、情景や心情を表現する語句を増やそうとし、さらに、文学的な文章に親しみ、文章の特徴、修辞などの表現技巧について積極的な理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の2領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を培い、他者との関わりを通じて、独創的な創作や説得力のある文章表現を工夫して行っている。	文学的な文章の読解を通じて、他者や社会への理解、自他の存在についての理解を深めようとし、読書のみならず、様々な表現活動への興味関心、理解を深め、意欲的に関わろうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 近代小説の作品、作家研究 ・芥川龍之介の作品『羅生門』『地獄変』『芋粥』『鼻』『藪の中』を中心とした近代小説の作品研究と作家研究	レポート提出 個人レポート	レポート提出 個人レポート グループ発表	レポート提出 個人レポート 振り返りレポート
	2 戦争文学の読解と鑑賞 ・原民喜の小説『夏の花』を中心とした、戦争文学の読解と鑑賞			
	評価点	100点	100点	100点
後期	3 近代詩歌の研究 ・近代短歌の鑑賞、研究と短歌の創作	レポート提出 個人レポート	レポート提出 個人レポート グループ発表	レポート提出 個人レポート 振り返りレポート
	4 書評の作成 ・文学作品を各自が選び、学習のまとめとして作品研究、作家研究を行い書評として作成する。			
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	1 近代小説の作品、作家研究 ・芥川龍之介の作品『羅生門』『地獄変』『芋粥』『鼻』を中心とした近代小説の作品研究と作家研究 ①『地獄変』のモチーフとなった宇治拾遺物語「絵仏師良秀」(言語文化教材)と読み比べる ②『羅生門』や『地獄変』と同様の、王朝物と呼ばれる芥川龍之介の他の作品『鼻』『芋粥』と読み比べる 書評を作成する ③『藪の中』の作品研究と書評の作成。 ④芥川龍之介の作家としての活動をまとめ、作品との関連について考察する 芥川龍之介の作家研究を通じて、近代文学の流れを俯瞰する、夏目漱石との関係にも留意する。 ◎古典作品を現代的に理解し、表現することについて考察する	20		
	5				
	6				
	7				
	8			2 戦争文学の読解と鑑賞 ①原民喜の小説『夏の花』の読解と鑑賞 ②田宮虎彦の小説『沖縄の手記から』の読解と鑑賞 ③林京子の小説『空き缶』の読解と鑑賞 ④三作品の読み比べを通じて、戦争文学の特質や意義について考察し、戦争中の人々の生き方について理解を深める。 ◎戦争文学を通じて、広く平和の意味を考察する	15
	9				
	後期			10	3 近代詩歌の研究 ・島木赤彦、与謝野晶子から依万智までの近現代の短歌を鑑賞し、短歌を創作する。 ①近現代の代表的な短歌について、作者の心情やその表現方法について考察し、鑑賞文を作成する ②身近な短歌として、「現代学生百人一首」の鑑賞文を作成する ③短歌を創作し、作品解説も作成する ④創作した短歌について相互評価する
		11			
		12	4 文学作品を各自が選び、学習のまとめとして作品研究、作家研究を行い書評として作成する。 ①各自が、自由に近代の文学作品を選び、作家、表現、主題などについて考察し書評としてまとめる。 ◎1年間の学習の内容(文学作品へのアプローチの仕方など)を活かす。 1年間の学習について振り返りを行う。	20	
1					
2					
3	評論文で常に話題、問題となる「近代」を、文学作品を通じて考察し、論理国語や、3年次でのより発展的で深い学習への足がかりとする。				

5 その他

・「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「古典探究」とも関連させながら、一体的な学習を進める。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	2単位・3 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>山川出版社『詳説世界史』</p> <p>第一学習社『グローバルワイド最新世界史図説』 啓隆社『世界史重要語句 Check List2024』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	諸地域世界の歴史的特質と、その交流・再編に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え理解している。また、諸資料の情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	諸地域世界の歴史的特質と、その交流・再編に関わる事象について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明したり、議論したりしている。	歴史総合で養った「私たち」の理解を足掛かりに、諸地域世界の歴史的特質を異文化理解の立場から探究している。諸地域の交流・再編から、現代における多文化共生のヒントを見出そうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成〕 ・古代文明の成立と特色 ・ユーラシア世界 ・南アジア、東南アジア世界 ・地中海世界 ・イスラーム世界とヨーロッパ世界の成立	定期考査等	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	〔第Ⅱ部 諸地域の交流・再編〕 ・イスラームの伝播 ・ヨーロッパの変容と展開 ・ユーラシア世界の展開 ・大交流の時代 ・アジアの諸帝国 ・近世ヨーロッパの動向	定期考査等	・定期考査等 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・単元シート記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	世界史へのまなざし 〔第1部 諸地域の歴史的特質の形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質	9
	5	・文明の誕生 ・オリエント、南アジア、中国、アメリカの古代文明	12
	6	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・草原とオアシスの世界 ・秦漢帝国と中国の動乱、変容	12
	7	◆ 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着	12
	8	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イラン諸国家とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家とローマの地中海支配	3
	9	第5章 イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大制服とイスラーム政権 ・ヨーロッパ世界の形成	12
			第1回考査
			第2回考査
	後期	10	〔第II部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・イスラーム教の諸地域への伝播
11		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東西ヨーロッパ世界の展開と変容 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	12
12		◆ 第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交流世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	9
1		第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	12
2		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立	12
3		◆ 科学革命と啓蒙思想	
			第3回考査
		第4回考査	

5 その他

歴史総合の学習を通じて、「歴史＝覚えること」という認識を脱することができたと思います。世界史探究では、いよいよ世界のすべての時代を対象にして歴史を考えていくことになります。2年生では、古代・中世と呼ばれる時代がその対象です。歴史総合で扱ってきた近現代史は、「私たち」の社会や価値観がどのように形作られてきたのかを学習してきました。では、古代中世を学習するのは何のためでしょうか。古代中世は、「私たち」とは異なる時空間や価値観で生活していた人々の歴史です。そのような時空間に生きた人々の歴史を理解し考えることは、「私たち」とは異なる他者の在り様を受け入れ共生していくためのヒントを与えてくれます。それは異文化理解の入口です。世界を知り、自分を知り、人に優しくあるために。ともに世界史を探究していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	3 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>山川出版社『詳説日本史』 浜島書店『新詳日本史』 啓隆社『日本史重要語句 Check List2024』 浜島書店『ゼミナール日本史』</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	国内外の諸状況の変化を背景とした、我が国の歴史における時代の転換を理解する。また、諸資料の情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	国内外の諸状況の変化を背景とした、我が国の歴史における時代の転換について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明したり、議論したりしている。	歴史総合で養った「私たち」の理解を足掛かりに、我が国の歴史における時代の転換を異文化理解の立場から探究している。我が国の歴史における時代の転換から、日本の諸課題のヒントを見出そうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第Ⅰ部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳と大和政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	定期考査等	・定期考査等 ・ワークの各記述分析	・学習課題等 ・単元の問いへの記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	〔第Ⅱ部 中世〕 第5章 日本文化のあけぼの	定期考査等	・定期考査等 ・ワークの各記述分析	・学習課題等 ・単元の問いへの記述

第6章 古墳と大和政権 第7章 律令国家の形成 〔第Ⅲ部 近世〕 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開			分析
評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	〔第Ⅰ部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの ・文化の始まり ・農耕社会の成立	9	
	5	第2章 古墳と大和政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	12	
	6	第3章 律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平安京の時代	12	
	7	◆ 律令国家の文化 ・律令国家の変容	12	
	8	第4章 貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化	3	
	9	◆ 地方政治の展開と武士	12	
	第1回考査			
	第2回考査			
	後期	10	〔第Ⅱ部 中世〕 第5章 院政と武士の躍進 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	12
11		第6章 武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴルの襲来と幕府の衰退	12	
12		◆ 鎌倉文化	9	
1		◆ 第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	12	
2		〔第Ⅲ部 近世〕 第8章 近世の幕開け ・織豊政権	12	
3		第9章 幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造		
◆ 幕政の安定			第4回考査	

5 その他

2年生の日本史探求では、古代・中世・近世を主な学習範囲としています。1年生の「歴史総合」において、皆さんは近現代史が、「私たち」の社会や価値観をどのように形作ってきたのかを学習してきたと思います。この力を基に、日本の歴史の中で起こった出来事の意味や意義を考え、時代がどのような要因で変化してきたのかを探求してもらいます。そして、そこで得た「歴史的な見方・考え方」というメガネから、現代の日本が抱える諸課題を見てみることで、それまでの自分が見えていなかった他者の価値観や考え方、問題解決のための発見や意見を持つことができると思います。これこそまさに異文化理解ではないでしょうか。日本史を探求して、多様なメガネから見える新たな世界を見てみましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>『高等学校新地理総合』帝国書院</p> <p>『新詳高等地図』帝国書院</p> <p>『新編地理資料 2024』東京法令出版</p> <p>『ニューコンパスノート地理 2024』東京法令出版</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深めている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界	・定期考査等 ・学習課題等	・定期考査等 ・学習課題等	・学習課題等

	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解			
		200点	200点	200点
後期	第2章 地球的課題と国際協力 第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	・定期考査等 ・学習課題等	・定期考査等 ・学習課題等	・学習課題等
		200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	5
	5	第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	10
	6	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	10
	7	2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活	10
	9	4節 歴史的背景と人々の生活	10
後期	10	5節 世界の産業と人々の生活 第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題	10
	11	2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題	
	12	4節 人口問題	10
		5節 食料問題 6節 都市・居住問題	
	1	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災	10
	2	3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	10
	3	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>『高等学校 新公共』 第一学習社</p> <p>『最新公共資料集2024』 第一学習社</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて選択・判断するための手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 公共の扉 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1～3 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4～6	・定期考査等	・定期考査等 ・学習課題等	・学習課題等
	評価点	200点	200点	200点

後 期	第2編 第3章 経済的主体となる私たち 主題7~13 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・定期考査等	・定期考査等 ・学習課題等	・学習課題等
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前 期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	10	
	5	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における企保天気原理		
	6	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任	10	
	7	◆-----第1回考査----- 主題3 司法参加の意義	3	
	8	第2章 政治的な主体となる私たち	12	
	9	主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛		
	10			
	後 期	10	第3章 経済的主体となる私たち 主題7 国際社会の変化と日本の役割 主題8 雇用と労働問題	15
		11	主題9 社会の変化と職業観 ◆-----第3回考査-----	
		12	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融の働き	15
1		主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化		
2		第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	5	
3		◆-----第4回考査-----		

5 その他

○「公共」は中学校の公民的分野の学習を発展させたもので、政治・経済に関する内容に加えて、人間としての在り方生き方について考える倫理的・道徳的内容を含んでいます。具体的な社会事象について、多面的・多角的にとらえ、皆さんの思考・判断・表現する力を伸ばしていける授業展開を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学B・数学C	単位数	3+2+1
		学年等	2年生 文科型、国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数学Ⅱ・数学B・数学C(数研出版)</p> <p>副教材:サクシード数学Ⅱ+B、サクシード数学C、チャート式数学Ⅱ+B、チャート式数学C(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的に捉え、適切に変形する力、図形について論理的に考察し簡潔・明瞭・的確に表現する力、事象を的確に表現してその特徴を考察する力、適切な分析を行い、問題解決やその過程と結果を考察し判断する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 数学B 第1章 数列	定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト	振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点
後期	数学C 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間上のベクトル 数学Ⅱ 第6章 微分法・積分法 数学B 第2章 確率分布と統計的な推測	定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト	振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域	5	
	5	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	25	
		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	25	
			第1回考査	
	7	◆ 数学B 第1章 数列	25	
	8	第1節 数列とその和	25	
	9	第2節 数学的帰納法	25	
		第2回考査		
	後期	9	数学C 第1章 平面上のベクトル	30
10		第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	25	
11		第2章 空間のベクトル		
12		◆ 第3回考査		
1		数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	30	
		2		第2節 導関数の応用
		3		第3節 積分法
2		数学B 第2章 確率分布と統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	20	
			第4回考査	

5 その他

- 授業では、学んだ知識を利用して思考し、ペアワーク、グループワークを通して表現していきます。
- 単元ごとに確認テストを行います。また、ICT 機器などを利用してパフォーマンス課題にも取り組みます。
- 授業を通して物事を多面的に捉え適切に変形し、論理的に考察し的確に表現してその特徴を考察、分析したうえで問題解決やその過程と結果から判断する力を養います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学・数学Ⅱ	単位数	2+2+2
	数学・数学B 数学・数学C	学年等	2年生 理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数学Ⅱ・数学B・数学C(数研出版)</p> <p>副教材:サクシード数学Ⅱ+B、サクシード数学C、チャート式数学Ⅱ+B、チャート式数学C(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的に捉え、適切に変形する力、図形について論理的に考察し簡潔・明瞭・的確に表現する力、事象を的確に表現してその特徴を考察する力、適切な分析を行い、問題解決やその過程と結果を考察し判断する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 数学B 第1章 数列	定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト	振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点
後期	数学C 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間上のベクトル 数学Ⅱ 第6章 微分法・積分法 数学C 第3章 複素数平面 第4章 式と曲線	定期考査 単元テスト	定期考査 単元テスト	振り返りシート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域	5
	5	第4章 三角関数	25
	6	第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	25
			振り返りシート
			第1回考査
	7	数学B 第1章 数列 第1節 数列とその和	25
	8	第2節 数学的帰納法	
	9	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	25
			振り返りシート
		第2回考査	
後期	9	数学C 第2章 空間のベクトル	15
	10	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	27
	11	第2節 導関数の応用	
			振り返りシート
	12		第3回考査
	1	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第3節 積分法	13
	2	数学C 第3章 複素数平面 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	25
3	第2節 媒介変数表示と極座標	25	
		振り返りシート	
		第4回考査	

5 その他

授業では、学んだ知識を利用して思考し、ペアワーク、グループワークを通して表現していきます。

- 単元ごとに確認テストを行います。また、ICT 機器などを利用してパフォーマンス課題にも取り組みます。
- 授業を通して物事を多面的に捉え適切に変形し、論理的に考察し的確に表現してその特徴を考察、分析したうえで問題解決やその過程と結果から判断する力を養います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数研出版「物理基礎」</p> <p>副教材:数研出版「リードα物理基礎・物理」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[第I章 波の性質] 第1節 波と媒質の運動 第2節 波の伝わり方 [第II章 音] 第1節 音の性質 第2節 発音体の共振・共鳴 第3節 ドップラー効果	・定期考査 ・実験レポートの記述分析	・定期考査等 ・実験レポートの記述分析	・提出物等 ・実験レポートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	[第III章 光] 第1節 光の性質 第2節 レンズと鏡 第3節 光の干渉と回折 第4節 正弦波 [第IV章 電気] 第1節 物質と電気 第2節 オームの法則 第3節 直流回路	・定期考査 ・実験レポートの記述分析	・定期考査等 ・実験レポートの記述分析	・提出物等 ・実験レポートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	〔第Ⅰ章 波の性質〕	18
	5	第1節 波と媒質の運動 探究活動1	
	6	① 波動 ②波の発生 ③波の表し方 ④波の表し方 第2節 波の伝わり方 探究活動2 第3節 重ね合わせの原理 ②定常波 ③波の反射 ④波の波面 第1回考査	
	7	◆-----	
	8	〔第Ⅱ章 音〕 第4節 音の性質	
	9	①音波 ②音の3要素 ③音の速さ ④音の伝わり方 ⑤うなり 第5節 発音体の共振・共鳴 探究活動3 ② 弦の振動 ②気柱の振動 ③共振・共鳴 第5節 ドップラー効果 探究活動4 ① ドップラー効果 ②音源や観測者が動く場合 ③いろいろな場合の現象 第2回考査	
	10	◆-----	
	11	〔第Ⅲ章 光〕 第1節 光の性質 探究活動5	
	12	① 光とその種類 ②光の速さ ③反射と屈折 ④全反射 ⑤スペクトル 第2節 レンズと鏡 探究活動6 ① 凸レンズ凹レンズ ②実像と虚像 ③組み合わせレンズ ④平面鏡 ⑤球面鏡 ⑥実像と虚像 第3回考査	
後 期	1	◆-----	17
	2	第3節 光の干渉と回折 探究活動7	
	3	第4節 正弦波	
	1	〔第Ⅳ章 電気〕 第1節 物資と電気	
	2	第2節 オームの法則 探究活動8 第3節 直流回路 第4回考査	
		◆-----	18

5 その他

○単に知識として理解するだけでなく、学習内容と身近な自然現象を関連させて物事をとらえ、化学の有用性や学ぶ意義を感じてほしい。

○考査間に実験や観察による探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	3単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:数研出版「物理」</p> <p>副教材:数研出版「リードα物理基礎・物理」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第I章 運動とエネルギー〕 第1節 運動の表し方 第2節 運動の法則 第3節 剛体 第4節 仕事とエネルギー	・定期考査 ・実験レポートの記述分析	・定期考査等 ・実験レポートの記述分析	・提出物等 ・実験レポートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点
後期	〔第III章 力と運動〕 第1節 運動量の保存 第2節 円運動 第3節 単振動と万有引力 〔第IV章 熱と気体〕 第1節 熱とエネルギー 第2節 気体のエネルギーと状態変化	・定期考査 ・実験レポートの記述分析	・定期考査等 ・実験レポートの記述分析	・提出物等 ・実験レポートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	〔第Ⅰ章 運動とエネルギー〕	27
	5	第1節 運動の表し方 探究活動1	
	6	① 速度 ② 加速度 ③ 落体の運動 第2節 運動の法則 探究活動2 ① 力とのはたらき ② 力のつりあい ③ 運動の法則	
	第1回考査		
	7	◆ 第3節 剛体 探究活動3	
	8	① 剛体にはたらく力のつりあい ② 剛体にはたらく力の合力と重心	
	9	第4節 仕事とエネルギー 探究活動4 ① 仕事 ② 運動エネルギー ③ 位置エネルギー ④ 力学的エネルギーの保存	
	第2回考査		
	◆		
後 期	10	〔第Ⅱ章 力と運動〕	26
	11	第1節 運動量の保存 探究活動5	
	12	① 運動量と力積 ② 運動量保存則 ③ 反発係数 第2節 円運動 探究活動6 ① 等速円運動 ② 慣性力	
	第3回考査		
	◆	第3節 単振動と万有引力 探究活動7	
	1	① 単振動 ② 万有引力	
	2	〔第Ⅲ章 熱と気体〕 探究活動8	
	3	第1節 熱とエネルギー 第2節 気体のエネルギーと状態変化 ① 気体の法則 ② 気体分子の運動 ③ 気体の状態変化	
	第4回考査		
◆			

5 その他

○単に知識として理解するだけでなく、学習内容と身近な自然現象を関連させて物事をとらえ、化学の有用性や学ぶ意義を感じてほしい。

○考査間に実験や観察による探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	3単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:第一学習社「化学」</p> <p>副教材:第一学習社「セミナー化学」 数研出版「フォトサイエンス化学図録」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学的な事物・現象に関わりながら、化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題をみだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[第Ⅱ章 物質の変化と平衡] 第2節 電池・電気分解 第1節 化学反応と熱・光 [第Ⅰ章 物質の状態] 第1節 物質の状態変化 第2節 気体の性質 第3節 固体の構造	・定期考査 ・小テスト等 ・課題テスト等	・定期考査等 ・提出物等	・提出物等
	評価点	200点	200点	200点
後期	第4節 溶液の性質 [第Ⅲ章 無機物質] 第1節 周期表と元素の性質 第2節 非金属元素 第3節 典型金属元素 第4節 遷移元素	・定期考査 ・小テスト等 ・課題テスト等	・定期考査等 ・提出物等	・提出物等
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	〔第Ⅱ章 物質の変化と平衡〕	30
	5	第2節 電池・電気分解	
	6	①電池 ②電気分解 ③電気分解の応用 探究活動1	
		第1節 化学反応と熱・光	
		①化学反応とエンタルピー変化 ②ヘスの法則 ③結合エネルギー ④化学反応と光 ⑤エントロピー 探究活動2	
		----- 第1回考査 -----	
	7	〔第Ⅰ章 物質の状態〕	
	8	第1節 物質の状態変化	
	9	①物質の三態とその変化 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 探究活動3	
	第2節 気体の性質		
	①気体の法則 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体 探究活動4		
	第3節 固体の構造		
	①化学結合と結合の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質 探究活動5		
	----- 第2回考査 -----		
		22	
後 期	10	第4節 溶液の性質	30
	11	①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド 探究活動6	
	12	〔第Ⅲ章 無機物質〕	
		第1節 周期表と元素の性質	
		①元素の分類と性質 ②化合物の性質と周期表	
		第2節 非金属元素	
		①水素 ②18族元素—貴ガス— ③17族元素—ハロゲン— ④16族元素—酸素と硫黄— ⑤15族元素—窒素とリン— ⑥14族元素—貴ガス— ⑦無機化学工業 探究活動7	
		----- 第3回考査 -----	
	1	第3節 典型金属元素	
2	①1族元素—アルカリ金属— ②2族元素—アルカリ土類金属—		
3	③両性を示す典型金属 探究活動8		
	第4節 遷移元素		
	①遷移元素 ②鉄 ③銅 ④銀 ⑤亜鉛 ⑥クロムとマンガン ⑦金属イオンの定性分析 探究活動9		
	----- 第4回考査 -----		
		23	

5 その他

○単に知識として理解するだけでなく、学習内容と身近な自然現象を関連させて物事をとらえ、化学の有用性や学が意義を感じてほしい。

○考査間に実験や観察による探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生 国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：「高等学校 生物基礎」(数研出版)</p> <p>資料集：「新課程 フォトサイエンス 生物図録」(数研出版)</p> <p>問題集：「新課程 リードα 生物基礎 完成ノート」(数研出版)</p> <p>副教材：「新課程 リード light ノート 生物基礎」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしていたり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・定期考査 ・授業の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

後 期	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・定期考査 ・授業の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前 期	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 予備学習 顕微鏡観察の基本操作 観察1 細胞の観察	20	
	5	第2節 エネルギーと代謝		
	6	第3節 呼吸と光合成 実験1 カタラーゼのはたらき 第1回考査		
	◆-----			
	期	7	第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 実験2 DNAの抽出	15
		8	第2節 遺伝情報の複製と分配 観察2 体細胞分裂の観察	
		9	第3節 遺伝情報の発現 第2回考査	
		◆-----		
	後 期	10	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 実験3 運動によるからだの状態の変化	20
11		第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 免疫のはたらき 第3回考査		
◆-----				
期		12	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	15
		1	第2節 植生の分布とバイオーム 実験4 身近な照葉樹とか緑樹の葉の比較	
		2	第3節 生態系と生物の多様性	
		3	第4節 生態系のバランスと保全 第4回考査	
◆-----				

5 その他

- 授業では、他者と協働しながら、生命現象に関して思考することを通して、学びを深めていきます。自分の考えを積極的に表現することを心がけましょう。
- 授業では、たくさんの用語が登場します。それぞれの用語の意味を正確に理解していきましょう。用語が正確に理解できたら、用語どうしのつながりを意識しましょう。生命現象というのは多くの要素がつながってできています。このつながりを意識して学習を進めていくと、「思考力・判断力・表現力」の育成が図れます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生 物	単位数	3 単位
		学年等	2 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：「生物」(数研出版)</p> <p>資料集：「新課程 フォトサイエンス 生物図録」(数研出版)</p> <p>問題集：「新課程 リードα 生物基礎+生物」(数研出版)</p> <p>副教材：「進研 WINSTEP 生物 新課程版」(ラーズ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしていたり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 化学反応にかかわるタンパク質 第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸と発酵 第3節 光合成	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・定期考査 ・授業の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

後 期	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製 第2節 遺伝情報の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第4節 発生と遺伝子発現 第5節 遺伝子を扱う技術	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・定期考査 ・授業の行動観察 ・実験ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・実験ワークシートの記述分析
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞	第1回考査 第2回考査
	5	第2節 タンパク質の構造と性質	
	6	第3節 化学反応にかかわるタンパク質 実験1 カタラーゼのはたらき	
		第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	
	◆-----		
	第3章 代謝		
	7	第1節 代謝とエネルギー	
	8	第2節 呼吸と発酵 実験2 細胞内ではたらく酵素による酸化還元反応	
	9	実験3 アルコール発酵 第3節 光合成 実験4 植物の光合成色素の分離	
◆-----			
後 期	10	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製	第3回考査 第4回考査
	11	第2節 遺伝情報の発現 探究活動 遺伝暗号の解読 探究活動 ヒトのインスリン遺伝子	
	◆-----		
	12	第3節 遺伝子の発現調節	
	1	第4節 発生と遺伝子発現	
	2	第5節 遺伝子を扱う技術 探究活動 遺伝子組換え実験	
	3	◆-----	

5 その他

- 授業では、他者と協働しながら、生命現象に関して思考することを通して、学びを深めていきます。自分の考えを積極的に表現することを心がけましょう。
- 授業では、たくさんの用語が登場します。それぞれの用語の意味を正確に理解していきましょう。用語が正確に理解できたら、用語どうしのつながりを意識しましょう。生命現象というのは多くの要素がつながってできています。このつながりを意識して学習を進めていくと、「思考力・判断力・表現力」の育成が図れます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：高等学校地学基礎(数研出版)</p> <p>資料集：新課程二訂版 スクエア最新図説地学(第一学習社)</p> <p>問題集：新課程 リードα地学基礎(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、野外観察、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書の作成や発表を通して、何が分かるようになったかを表現することができる。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	・第4編 地球の環境 ・第1編 活動する地球 ・第2編 移り変わる地球	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返り
	評価点	200点	200点	200点
後期	・第2編 移り変わる地球 ・第3編 大気と海洋 ・第5編 太陽系と太陽	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返り
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	[第4編 地球の環境] 第1章 地球の環境と日本の自然環境 1. 気候の自然変動 2. 人間活動による環境変化 3. 日本の自然環境	4
	5	[第1編 活動する地球] 第1章 地球の構造 1. 地球の形と大きさ <u>実習 地球の大きさ</u> 2. 地球の構造	16
		第2章 プレートの運動 1. プレートテクトニクスと地殻変動 2. プレートの運動のしかた <u>実習 プレートの移動速度</u>	
	6	第3章 地震 1. 地震 2. 地震の分布 <u>実習 震源の決定</u> 第1回考査	16
		◆----- 第4章 火山 1. 火山活動 2. 火成岩 <u>実験 マグマの発泡</u> <u>実習 深成岩の観察</u>	
	7	[第2編 移り変わる地球] 第1章 地層の形成	16
	8	1. 堆積作用と堆積岩 2. 地層の形成 <u>実験 地層中に形成される構造</u> <u>実習 地層の観察</u>	
	9	◆----- 第2回考査	
	後 期	10	第2章 古生物の変遷と地球環境 1. 化石と地質時代の区分 2. 古生物の変遷 <u>実習 化石の観察</u>
11		[第4編 地球の環境] 第1章 地球の環境と日本の自然環境 <u>実習 防災マップの活用</u>	14
		[第3編 大気と海洋] 第1章 地球と熱収支 1. 大気の大循環 2. 地球全体の熱収支 <u>実験 気圧と気温の高度変化</u> 第3回考査	
12		◆----- 第2章 大気と海水の運動 <u>実験 海水の沈み込みモデル実験</u>	20
1		1. 大気の大循環 2. 海水の運動 3. 日本の天気と気象災害	
2		[第5編 太陽系と宇宙] 第1章 太陽系と太陽	
3		1. 太陽系の天体 2. 太陽 3. 太陽系の誕生と現在の地球 第2章 宇宙の誕生 1. 宇宙の誕生 第4回考査	◆-----

5 その他

1. 本授業は受けるものではなく、参加者全員で創る授業です。主体性をもって参加しましょう。
2. 問いを立てることは ABLE だけではなく、地学(科学)ともつながります。常に自分の中に問いを立てましょう。
3. 言葉を暗記するのではなく、常に現象や背景のつながり、仕組みを考えることで、論理的・科学的思考力を鍛えましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	本校体育実技記録ノート アクティブスポーツ 2024(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	○体づくり運動 ○選択Ⅰ(器械運動・陸上競技・ダンス・水泳・球技) ○選択Ⅱ(ダンス) ○体育理論	・スキルテスト ・種目テスト(筆記)	・レポート ・学習プリント ・授業観察	・授業観察 ・学習プリント
	評価点	100点	100点	100点
後期	○選択Ⅲ(球技・武道) ○陸上競技(長距離走) ○体育理論	・スキルテスト ・種目テスト(筆記)	・レポート ・学習プリント ・授業観察	・授業観察 ・学習プリント
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	○体づくり運動	2	
	5	○選択Ⅰ ・器械運動・陸上競技・ダンス・水泳 ・球技:バドミントン・テニス・ソフトテニス・卓球・バレーボール・ソフトボール		
		6		
			第1回考査	16
	7	◆ ○選択Ⅱ ・ダンス	2	
	8	○体づくり運動		
	9			
			○体育理論 2単元 運動・スポーツの学び方 1. スポーツにおける技能と体力 2. スポーツにおける技術と戦術	12 2
			◆ 第2回考査	
後期	10	○選択Ⅲ ・球技:ゴール型(バスケットボール・ハンドボール・アルティメット・サッカー)	14 4	
	11	・武道(柔道)		
	12	○体育理論 2単元 運動・スポーツの学び方 3. 技能の上達過程と練習 4. 効果的な動きのメカニズム 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの安全確保		
			第3回考査	
	1	◆ ○陸上競技(長距離走)	18	
	2			
3				
		◆ 第4回考査		

その他

○ 選択(Ⅰ、Ⅲ)授業においては、人数によって開講できない場合もある。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館書店） 現代高等保健体育ノート(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	100 点	100 点	100 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[3単元]生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	・考査	・考査 ・学習プリント	・授業観察 ・学習プリント ・ノート
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	[4単元]健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策	・考査	・考査 ・学習プリント	・授業観察 ・学習プリント ・ノート

後 期	4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加			
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前 期	4	〔3単元〕生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康	9	
	5	2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択		
	6	4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶		
	7	◆-----第1回考査		
	7	6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康		
	8	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康		
	9	10. 健康的な職業生活		
	9	◆-----第2回考査		
	10	〔4単元〕健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康		9
	11	2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策		
4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性				
12	6. 食品衛生にかかわる活動			
12	◆-----第3回考査			
1	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用			
2	9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策			
2	11. 健康に関する環境づくりと社会参加			
3	◆-----第4回考査			
3	◆-----	8		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
		学年等	2年生

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>ELEMENT English Communication Ⅱ</p> <p>ELEMENT English Communication Ⅱ サブノート</p> <p>Hyper Listening [Intermediate] & [Pre-Advanced]</p>

技能演習シリーズ Path to Speaking 2 Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 Change the World [Basic] & [Approach] Neo 現代を見る 技能演習シリーズ Path to Speaking 2 必携英単語 LEAP (1年次からの継続) ジーニアス総合英語 第2版 (1年次からの継続) ジーニアス総合英語 English Grammar in 46 Lessons
--

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[1. 身近な話題を発信する] Lesson2 Power of Words → 身近にある事柄について英語で理解し、内容と自分の考えをスピーチ形式で英語で発信する。 [Listening] 身近な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、詳細(職業、明言の意味、レポートの提出時期)を聞き取ることができる。 [Reading] 平易な英語で書かれた短いスピーチを読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読んだりすることができる。 [Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、短い簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。 [Speaking(やりとり)]	・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題	・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題	・ルーブリック ・e-port ・ワークシート ・パフォーマンス課題

<p>身近な事柄について短い文や簡単な表現を使って、短い社交的なやりとりを行うことができる。</p> <p>[Writing]</p> <p>身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書くことができる。</p> <p>Lesson3 Preconception</p> <p>→身近にある事柄について英語で理解し、内容と自分の考えをスピーチ形式で英語で発信する</p> <p>[Listening]</p> <p>身近な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、概要(話題となっている人や物、話し手の意図)や詳細を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading]</p> <p>社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、必要であれば読み直したりしながら、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)]</p> <p>本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、短い簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)]</p> <p>比較的身近な事柄について、ゆっくり繰り返しながらであれば、短い文や簡単な表現を使って、簡単に直接的なやりとりを行うことができる。</p> <p>[Writing]</p> <p>身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、短い説明文を書くことができる。</p> <p>[2. 社会的な話題を紹介する]</p> <p>Lesson4 The Century of War</p> <p>→ 社会的な事柄について英語で理解し、内容と自分の考えや意見を英語で発信する。</p> <p>[Listening]</p> <p>社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、概要や要点(ストーリーの展開)、詳細(登場人物の行動や感情)をとらえることができる。</p> <p>[Reading]</p> <p>比較的平易な英語で書かれた社会的な話題について、ストーリーの展開を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応</p>			
--	--	--	--

	<p>じてとらえることができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 社会的な話題について調べたことを情報や考えを整理して伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 社会的な話題に関する文を読んだり発表を聞いて、内容や自分の考えを短い文や簡単な表現を使って、話し合うことができる。</p> <p>[Writing] 社会的な話題について、簡単な語句や表現を使って、その内容を書いて伝えることができる。</p>			
	評価点	150点	150点	150点
後 期	<p>Lesson5 How Our Minds Work → 社会的な事柄について英語で理解し、その内容と自分の考えや意見を英語で紹介する。</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、概要(話題となっている場所、発言の理由)や詳細(ポスターの特徴)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、必要であれば読み直したりしながら、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 身近な事柄(心理学的事象)について、絵などの手助けがあれば、簡単な表現を使って説明することができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄や自身の経験について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って伝え合うことができる。</p> <p>[Writing] 読んだ英文について、簡単な語句や表現を使って、理由を示しながら自分の考えを書くことができる。</p> <p>[3. 社会的な話題を発信し、議論する] Lesson 6 IT and Life → 社会的な問題について英語で理解し、内容と自分の考えを図やキーワードを用いて適切に英語で発信する</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、必要な情報(パステの場所)や概要(様子、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ループリック ・e-port ・ワークシート ・パフォーマンス課題

<p>状況)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 平易な英語で書かれた短い物語文を読んで、話の流れを把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読んだりすることができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って、話のあらすじを伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing] 身近で社会的な事柄について、簡単な語句や表現を使って、理由を示しながら自分の考えを書くことができる。</p> <p>Lesson 7 Advances in Medical Technology → 社会的な問題について英語で理解し、内容と自分の考えをグラフや表を用いて適切に英語で発信する</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、必要な情報(症状、予約、薬の時間など)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing] グラフや表を参考に、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書くことができる。</p> <p>Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact → 社会的な話題について理解し、内容と自分の考えにつ</p>			
--	--	--	--

<p>いて論理的に発信する</p> <p>[Listening]</p> <p>身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、出来事の順番を理解することができる。</p> <p>[Reading]</p> <p>社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)]</p> <p>本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)]</p> <p>身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing]</p> <p>自分を変えた経験について、簡単な語句や表現を使って書くことができる。</p>			
評価点	150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	<p>Lesson2 Power of Words</p> <p>→ 身近にある事柄について英語で理解し、内容と自分の考えをスピーチ形式で英語で発信する</p> <p>[Listening]</p> <p>身近な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、詳細(職業、明言の意味、レポートの提出時期)を聞き取ることができる</p> <p>[Reading]</p> <p>平易な英語で書かれた短いスピーチを読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読んだりすることができる</p> <p>[Speaking(発表)]</p> <p>本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、短い簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる</p> <p>[Speaking(やりとり)]</p> <p>身近な事柄について短い文や簡単な表現を使って、短い社交的なやりとりを行うことができる。</p> <p>[Writing]</p> <p>身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書くことができる。</p>	16
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 探究活動1 Speech </div> <p>Lesson3 Preconception</p> <p>→身近にある事柄について英語で理解し、内容と自分の考えをスピーチ形式で英語で発信する</p>	

		<p>[Listening] 身近な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、概要(話題となっている人や物、話し手の意図)や詳細を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、必要であれば読み直したりしながら、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、短い簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 比較的身近な事柄について、ゆっくり繰り返しながらであれば、短い文や簡単な表現を使って、簡単に直接的なやりとりを行うことができる。</p> <p>[Writing] 身近な事柄について、簡単な語句や表現を使って、短い説明文を書くことができる。</p>	16
	6	<p style="text-align: right;">第1回考査</p> <p>●.....</p> <p>Lesson4 The Century of War → 社会的な事柄について英語で理解し、内容と自分の考えや意見を英語で発信する。</p>	16
	7	<p>[Listening] 社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、概要や要点(ストーリーの展開)、詳細(登場人物の行動や感情)をとらえることができる。</p> <p>[Reading] 比較的平易な英語で書かれた社会的な話題について、ストーリーの展開を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じてとらえることができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 社会的な話題について調べたことを情報や考えを整理して伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 社会的な話題に関する文を読んだり発表を聞いて、内容や自分の考えを短い文や簡単な表現を使って、話し合うことができる。</p>	16
	8	<p>[Writing] 社会的な話題について、簡単な語句や表現を使って、その内容を書いて伝えることができる。</p>	4
	9	<div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">探究活動2 Presentation</p> </div> <p style="text-align: right;">第2回考査</p> <p>●.....</p>	16
後 期	10	<p>Lesson5 How Our Minds Work → 社会的な事柄について英語で理解し、その内容と自分の考えや意見を英語で紹介する。</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、概要(話題となっている場所、発言の理由)や詳細(ポスターの特徴)を聞き取ることができる。</p>	12

	<p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、必要であれば読み直したりしながら、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 身近な事柄(心理学的事象)について、絵などの手助けがあれば、簡単な表現を使って説明することができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄や自身の経験について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って伝え合うことができる。</p> <p>[Writing] 読んだ英文について、簡単な語句や表現を使って、理由を示しながら自分の考えを書くことができる。</p> <p>Lesson 6 IT and Life → 社会的な問題について英語で理解し、内容と自分の考えを図やキーワードを用いて適切に英語で発信する</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、必要な情報(パステの場所)や概要(様子、状況)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 平易な英語で書かれた短い物語文を読んで、話の流れを把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読んだりすることができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って、話のあらすじを伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing] 身近で社会的な事柄について、簡単な語句や表現を使って、理由を示しながら自分の考えを書くことができる。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;"> 探究活動 3 Debate </div> <p style="text-align: center;">第3回考査</p> <p>●.....</p> <p>Lesson 7 Advances in Medical Technology → 社会的な問題について英語で理解し、内容と自分の考えをグラフや表を用いて適切に英語で発信する</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、必要な情報(症状、予約、薬の時間など)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細</p>	16
12	<p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、必要な情報(症状、予約、薬の時間など)を聞き取ることができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細</p>	16

1	<p>を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing] グラフや表を参考に、簡単な語句や表現を使って、自分の考えを書くことができる。</p> <p>Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact → 社会的な話題について理解し、内容と自分の考えについて論理的に発信する</p> <p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、出来事の順番を理解することができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p> <p>[Writing] 自分を変えた経験について、簡単な語句や表現を使って書くことができる。</p>	16
2	<p>[Listening] 身近な事柄や社会的な事柄について、はっきりとした短い会話を聞いて、出来事の順番を理解することができる。</p> <p>[Reading] 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができる。</p> <p>[Speaking(発表)] 本文に関連する写真やキーワードなどの手助けがあれば、簡単な表現を使って、話の要点を伝えることができる。</p> <p>[Speaking(やりとり)] 身近な事柄について、あまり準備をしなくても、短い文や簡単な表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えることができる。</p>	12
3	<p>[Writing] 自分を変えた経験について、簡単な語句や表現を使って書くことができる。</p> <div data-bbox="815 1424 1362 1498" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>探究活動 4 Discussion</p> </div> <p style="text-align: center;">第4回考査</p> <p>●.....</p>	4

5 その他

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生

2. 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1) 話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>English Logic Expression 「Genius English Logic and Expression Ⅱ」</p> <p>English Logic Expression Genius English Logic and Expression Ⅱ ライティングノート</p> <p>ジーニアス総合英語 第2版 (1年次からの継続)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、

	を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを論理の構成や展開を工夫して効果的に伝える技能を身につけている。	な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを適切に表現したり伝えあったりしている。	話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>[1. 文章を構成する]</p> <p>Lesson 1 What Country Do You Want to Go To</p> <p>Lesson2 Book Report</p> <p>Lesson3 What News Are You Most Interested In?</p> <p>Lesson4 What Do You Think about Sports?</p> <p>Lesson5 Must-Try Local Foods</p> <p>Lesson6 Letter of Encouragement</p> <p>[Writing]</p> <p>・クラスメートに向けていきたい国を紹介することができる。</p> <p>・ビブリオバトルの聴衆に向けて、すすみたい本を紹介することができる。</p> <p>・クラスメートに向けて、気になるニュースについて説明することができる。</p> <p>・クラスメートに向けて、スポーツに対する自分の意見を述べるすることができる。</p> <p>・観光客に向けて、すすみたい地元の料理を紹介することができる。</p> <p>・悩みを抱えている人へ励ましの手紙を書くことができる。</p> <p>[2. 段落を構成する]</p> <p>Lesson1 What Makes You Happy</p> <p>Lesson2 Does Technology Make Our</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・ワークシート</p> <p>・ポートフォリオ</p> <p>・パフォーマンス課題</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・ワークシート</p> <p>・ポートフォリオ</p> <p>・パフォーマンス課題</p>	<p>・ルーブリック</p> <p>・e-port</p> <p>・ワークシート</p> <p>・パフォーマンス課題</p>

	<p>Lives Better? Lesson3 My Personal History Lesson4 City or Country? Lesson5 Environmental Problems</p> <p>[Writing] ・自分を幸せにするもの/ことについてのパラグラフを書くことができる。 ・科学技術と生活についてのパラグラフを書くことができる。 ・自分自身のこれまでを振り返るパラグラフを書くことができる。 ・都会と田舎のどちらに住むべきかについてパラグラフを書くことができる。 ・環境問題について、内容や解決策を「原因・結果」の構成を使って書くことができる。</p> <p>[3. 自分の考えを発表する] Lesson1 One Small Action Lesson2 Creating Something New In Empty Spaces Lesson3 Making Your Hometown Special</p> <p>[Speaking(発表)] ・自分にできる社会貢献活動についてスピーチすることができる。 ・空きスペースの有効な活用法について述べることができる。 ・地元や住んでいる地域のまちづくりについて述べることができる。</p>			
	評価点	150点	150点	150点
後期	<p>[4. 自分の考えを共有する] Lesson1 Should Every Student be in a Club? Lesson2 Should All Zoos be Banned? Lesson 3 Should Students Study Abroad?</p>	<p>・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題</p>	<p>・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題</p>	<p>・定期考査等 ・ワークシート ・ポートフォリオ ・パフォーマンス課題</p>

	<p>[Speaking(やりとり)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員部活に入るべきかについて討論することができる ・動物園の是非やエコツアーについて討論することができる ・留学やボランティア活動の是非について議論することができる <p>[5. 意見を書いて伝える]</p> <p>Lesson1 What's Going on at School Lesson2 What to Preserve for Future Generations Lesson3 Thinking about Education</p> <p>[Writing]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の出来事を描写する記事を書くことができる ・未来の世代に遺したいものについて書くことができる。 ・教育について意見を述べることができる。 			
評価点		150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	<p>[1. 文章を構成する]</p> <p>Lesson 1 What Country Do You Want to Go To Lesson2 Book Report Lesson3 What News Are You Most Interested In?</p>	20
	5	<p>Lesson4 What Do You Think about Sports? Lesson5 Must-Try Local Foods Lesson6 Letter of Encouragement</p> <p>[2.. 段落を構成する]</p> <p>Lesson1 What Makes You Happy Lesson2 Does Technology Make Our Lives Better? Lesson3 My Personal History</p> <p>●.....第1回考査</p>	

	7	Lesson4 City or Country? Lesson5 Environmental Problems	14
		探究活動1 エッセイライティング	
	8	[3. 自分の考えを発表する] Lesson1 One Small Action	12
	9	Lesson2 Creating Something New In Empty Spaces Lesson3 Making Your Hometown Special	
		探究活動2 プレゼンテーション	
		●.....第2回考査	
後 期	10	[4. 自分の考えを共有する] Lesson1 Should Every Student be in a Club? Lesson2 Should All Zoos be Banned? Lesson3 Should students study abroad?	12
	11	探究活動3 ディベート	
		●.....第3回考査	
	12	[5. 意見を書いて伝える] Lesson1 What's Going on at School Lesson2 What to Preserve for Future Generations Lesson3 Thinking about Education	12
	1		
	2	探究活動4 ディスカッション	
	3	●.....第4回考査	

5 その他

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語総合Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生 国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、英語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やり取り] ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表] ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5)書くこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	---

使用教科書 副教材等	『ジーニアス総合英語 第2版』（大修館書店）＜継続使用＞ 『21st Century Communication Listening, Speaking, and Critical Thinking』 (National Geographic Learning) 『新演習 950 英文法・語法問題』（いっずな書店）＜全員＞ 世界の諸問題に関する英字新聞、インターネット上の記事等 自主作成教材、
---------------	--

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、世界の様々な国の人々が聞き手、読み手、話し手、書き手であることに配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<ul style="list-style-type: none"> ●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容 Unit 1 : Small Actions, Big Results Unit 2 : Connecting to Nature Unit 3 : Going Places Unit 4 : Music, Music Everywhere 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出
	<ul style="list-style-type: none"> ●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容 1. 教育 2. 文化 3. 自然 4. 法 5. 経済 	150点	150点	150点
後期	<ul style="list-style-type: none"> ●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容 Unit 5 : Give Thanks Unit 6 : Tell Me Why... Unit 7 : The Livable City Unit 8 : Life Lessons ●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・英語によるレポート提出

	るための学習内容 6. 外交 7. 環境エネルギー 8. 科学技術 9. 異文化を伝える			
		150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容	35
	5	Unit 1 : Small Actions、Big Results	
	6	Unit 2 : Connecting to Nature ①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着をさせる。 ②与えられたテーマに対して、興味を持ち、積極的に英語で話そうとする。 ③ペアやグループトークの中で、既習の文法、語彙を用いて、幅広い話題について英語で表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを5割程度理解する。 ⑤テーマに沿った単語や必要な表現の運用方法を身に付ける。 ⑥様々な話題について、辞書を使って約8分で60語程度の文章を書く。 Unit 3 : Going Places Unit 4 : Music、Music Everywhere ①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②与えられたテーマについて英語で質問したり、他者との対話によって内容理解に積極的に取り組む姿勢を養う。 ③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に興味を持たせるような表現で、自分の意見などを適切な英語で表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを6割程度理解する。 ⑤英語の表現に適した、非言語のコミュニケーション方法を運用する。 ⑥様々な話題について、辞書を使って約8分で70語程度の文章を書く。 ●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容 1. 教育 2. 文化 3. 自然 ★ 教育・文化・自然などの観点から各国の「現在」を英語で学ぶことで以下のことができるようになることを「ねらい」とします。 ①英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。 ②テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。	

	<p>③①と②で得た情報を回りに英語で書いたり話したりして共有することができるようになる。またその結果、各国の「現在」に関心がもてるようになる。</p> <p>4. 法 5. 経済 6. 外交</p> <p>★ 法・経済・外交という3つの観点からその国について調べることで、各国の「過去」について英語で学び、以下のことができるようになることを「ねらい」とします。</p> <p>①英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。</p> <p>②テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。</p> <p>③①と②で得た情報を回りに英語で書いたり話したりして共有することができるようになる。またその結果、各国の「過去」に関心がもてるようになる。</p>	
後 期	<p>10 ●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容 11 Unit 5 : Give Thanks 12 Unit 6 : Tell Me Why...</p> <p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②与えられたテーマについて積極的に調査し、その内容をペアやグループで共有するなど、主体的に取り組む。 ③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に伝わりやすい、論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを7割程度理解する。 ⑤より相手に伝わりやすい論理的な文章構成を身に付ける。 ⑥様々な話題について、辞書を用いず約8分で 70 語程度の文章を書く。</p> <p>Unit 7 : The Livable City Unit 8 : Life Lessons</p> <p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②他者の発表を積極的に聞き、その内容に即した質問や、内容が展開するような発言をする。 ③自他の発表において、客観的に評価し、改善を試みる。 ④グループ・個人によるプレゼンテーション、ディスカッション、スピーチにおいて、説得力のある論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。 ⑤140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを 8 割程度理解する。 ⑥与えられたテーマに必要な英語表現、テーマに適した文章構成を身に付ける。 ⑦様々な話題について、辞書を用いず約8分で 80 語程度の文章を書く。</p> <p>●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容 7. 環境エネルギー 8. 科学技術</p> <p>★ 「現在」と「過去」について前期で学んだことを関連付けながら、その国の「未来」について情報</p>	35

	<p>を収集し、考えて、英語で発信していくことを「ねらい」とします。そのために以下の「小ねらい」を設定します。</p> <p>①英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。</p> <p>②テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。</p> <p>③①と②で得た情報を共有し、各回に出される問いに対する答えを英語で話し合うことができるようになる。またその結果、国際社会の「未来」に関心がもてるようになる。</p> <p>9. 異文化を伝える</p> <p>①1年間で得た情報をポスターとしてまとめることができるようになる。</p> <p>②1年間で得た伝達方略を使って伝えることができるようになる。</p> <p>③他者の発表に対して感想や意見を述べ合うことができるようになる。</p>	
--	---	--

5 その他

<p>【その他】</p> <p>初回の授業で1つ国を決めて、その国についての学習を1年を通して様々な観点から行っていきます。1人1人が違う国を設定し、お互いに情報共有をしていきながら、国内外の情勢、文化、課題等について幅広い知識を身に付けていく。</p> <p>そのための手立ては、①設定した国が発行している新聞記事の英訳を毎週1つ読み、それを英語で報告すること、②毎回の授業で紹介されるテーマと問い(例えば、環境問題をテーマにし、あなたの国の水問題を解決するにはどうしたらいいですか？を問いにする)について ICT 機器を活用して調べたり、他教科の先生のところに質問に行ったりして、得た情報を英語でまとめていくこと、③①②を最終的に報告書とプレゼンテーションという形で発信していくことの3つである。この授業で皆さんがまとめた情報や習得した言語発信スキルは3年生になって行われる予定の「模擬国連」と「卒業課題研究論文」に活用されていきます。また ALT の先生からは1年次に身に着けた言語発信スキルを更にレベルアップさせ、高度な英語コミュニケーションを行うことができるようになるために、様々なコミュニケーション方略や言語表現の教授を受ける。</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・フランス語	単位数	1単位
		学年等	2年生 国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>フランス語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	--

使用教科書 副教材等	(1)inspire 1 (A1 cahier d'activités) (Hachette FLE) (2)仏和辞典 (3)自主作成プリント
---------------	---

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、フランス語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	フランス語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にフランス語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	inspire 1 Unit 10~14	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	inspire 1 Unit 15~19	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)inspire 1 Unit 10~14	18
	5	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	6	(1)基本となる30の動詞の活用を学ぶ。 (2)助詞の近接未来形の意味を理解し、活用を学ぶ。	
	7	(3)総合テストを行い、学習内容を習得する。	
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容 (1)inspire 1 Unit 15~19	17
	11	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	12	(1)基本となる10個の前置詞を習得し、空間的に位置づけながら語る表現を学ぶ。 (2)動詞の複合過去形の意味を理解し、活用を学ぶ。	
	1	(3)道順を尋ね、教える表現を学ぶ。 (4)一年間の学習事項の再確認をする。	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・中国語	単位数	1単位
		学年等	2年生 国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>中国語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
---------	--

使用教科書 副教材等	新・高校版 中国語つぎへの一歩(白水社) 新・高校版 中国語はじめの一歩(白水社) 自作プリント
---------------	--

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1年次の学習を復習、応用し、ホテル、タクシー、買い物などのいろいろな場面で中国語でどのように表現するかなどについて、文法を分析しながら、実際の会話の練習を行う。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	前期で学んだ内容を総合的に用いて、演習を行う。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 ・1年次の学習を踏まえて、総合練習を行う。	18
	5	・ホテル、タクシー、買い物などのいろいろな場面で中国語でどのように表現するかなどについて、文法を分析しながら、実際の会話の練習を行う。	
	6	学習のねらい	
	7	・一年次で勉強した内容を復習することと、時刻、年月日、ホテルの予約、タクシー、買い物など、日常場面での表現を身につける。	
	8	・苦情を訴えること、紛失届を出す場面の表現を身につける。	
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容	17
	11	・前期で学んだ内容を総合的に用いて、演習を行う。	
	12	学習のねらい	
	1	・文章の書き方を学習する。 ・中国で新しく出てきた新語、中国文化など	
	2	・複文の種々の表現と作文、及び書類の作成を行う。	
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・韓国・朝鮮語	単位数	1単位
		学年等	2年生 国際コミュニケーションコース

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>韓国・朝鮮語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	---

使用教科書	(1)한국어 1・韓国語1(TWO PONDS [주] 문 진 미 디 어)
副教材等	(2)自主作成教材

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	韓国・朝鮮語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国・朝鮮語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	TWO PONDS1 第11課～第16課	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	一年間で学んだ内容を総合的に練習する。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)TWO PONDS1	18
	5	11課 電話 12 課 お店 13 課 食堂 14課 交通手段 15課 バスの停留所 16課 招待	
	6	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	7	授業を通して、韓国・朝鮮の文化や社会に対する基本的な知識を身につける。	
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容 1年間で学んだ内容を総合的に練習する。	17
	11	学習のねらい 総合的に練習する。	
	12	寸劇を通して会話力を高める。 スキット①「体育の時間」	
	1	スキット②「ラーメンといえばキムチでしょう」 スキット③「トッポッキ友だち」	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第 2 回と第 4 回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	美術2(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	素描 絵画表現 鑑賞	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	素描 立体構成 平面構成 鑑賞	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期		美術Ⅱオリエンテーション	1
	4	静物素描1 鉛筆で卓上の静物を素描する(構図・空間・質感の造形的表現を工夫する)	8
	5		
	6	静物素描2 鉛筆で卓上の静物を素描する(構図・空間・質感の造形的表現を工夫する) 第1回考査	8
	7	◆-----	
		人物画1 鉛筆で人物を素描する(構図・動きを理解する)	8
	8		
	9	人物画2 鉛筆で人物を素描する(構図・空間・質感・動きを理解する)	8
		鑑賞 他作品を鑑賞し、造形的な良さや創造的な工夫について考え、自分の作品に活かすようレポートにまとめる。	1
		前期のまとめ 第2回考査 ◆-----	1
後期	10	構想素描 鉛筆で構想したイメージを素描する(構図・空間・質感を工夫する)	6
		立体構成 素材の特徴を生かして造形的に立体を構成する。	9
	11	◆----- 第3回考査	
	12	平面構成 構図と色彩を工夫し造形的に平面構成をする。	8
		鑑賞 美術作品を鑑賞し、主題を生成するための造形的な良さや創造的な工夫について考える。	2
	1		
	2	平面構成 構図と色彩を工夫し造形的に平面構成をする。	8
3	後期のまとめ、1年間のまとめ 第4回考査 ◆-----	2	

5 その他

- 表現活動に様々な用具を使用しますが、基本的に各自の教材費で購入します。
- 表現と鑑賞を通して、個人またはグループによる美術的探求活動を行い、造形的な理解を深めていきます。
- 定期考査は実施せず、授業で行う課題の技能・知識及び思考・判断・表現、主体的な学習態度により総合的に評価します。

令和6年度 ABLE Time (エイブル タイム) (総合的な探究の時間) 年間指導計画

広島市立舟入 高等学校 全日制 課程 (普通科普通、普通科国際コミュニケーションコース)

実施学年 (2) 年

学校において定める 目 標		(1) 自己の在り方生き方を考えながら、現代社会の問題を自己の問題としてとらえ、課題を発見し、「問い」を立て、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成する。 (2) 共働的な活動を通じて、多面的な他者理解と自己の相対化を図り、「対話」の態度を養う。 (3) 自己の思いや考えを、相手にわかりやすく発信する力を育てる				
内 容	探 究 課 題	・現代社会への問題意識と「問う」力の育成				
	育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力	(1) 探究のリテラシーや意義・価値への理解を活用した探究分野に対する興味・関心・理解の伸長および深化と、「問い」を立てる技能 (2) 自分の探究する分野について、自ら「問い」を立てたうえで、情報収集やその整理、分析を通して、論理的な結論を導く力及びそれらを多様な形で表現し、相手にわかりやすく発信する力 (3) 探究活動に主体的・共同的に取り組むことを通じて、自己の生き方についてよりよく考察する姿勢及び現代社会の問題を自己の視点で見出し「自分事」として捉える態度				
付与する単位数		1 単位				
授業時数の配当方法		1 単位を週ごとに割り振り実施する。				
学 習 活 動		(1) 問立て学習 (「問う」力を育成するための実践を行う) (2) 平和学習 (平和について考察することを通して論理的思考力・判断力・表現力を高める) (3) 言語学習 (小論文やレポートを書くことを通じて論理的思考力・判断力・表現力を身につける)				
教 材 の 使 用 等		プリント教材、新聞、書籍など				
指導方法・指導体制		(1) イノベーションデザイン部において、年間指導計画および指導案を策定する。 (2) 学年会において、年間指導計画および指導案を検討し実施する。				
評価規準・評価方法		ポートフォリオ、生徒の自己評価、授業観察、プレゼンテーションなどによって評価する。				
単 元	月	探究の 過 程	学習内容・学習活動	時 数	学習活動 (場 所)	各教科・特別活動等との関連・ 指 導 上 の 留 意 点 等
	4 月	ガイダ ンス	・全体説明会	1	学年単位 (講堂)	・1年間の目標と活動内容を確認する。

世界を 考え、 表現する	5月	準備	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招聘して、講演を行う。 問立て学習 自己の進路に関する現代の諸課題を書籍や新聞等で調査し、各班で研究するテーマを模索する。 	4	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な興味関心から問いを立てる方法を身につける。 自己の進路に関する諸問題について、どのような貢献ができるか考察させる。
	6月	準備	<ul style="list-style-type: none"> 各班で研究するテーマを決定し、テーマについて調査研究する。 	3	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> グループ内共有を通じて、表現する力を養うとともに、相互に評価させることで他者理解を図る。
	7月	準備 実践	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの深化 	3	班単位（教室） 学年単位（講堂）	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業に行う研究テーマの調査計画を自分で考えさせる。
	8月	準備 実践	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの調査 	1	夏課題	
	9月	準備 収集	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中の調査などを基に社会問題を考え、ディベートなどを実施する。 	2	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> レポートの共有とレポートテーマに基づく探究グループ作成 ディベートを通じて他者の理解を深めるとともに、探究グループで議論することで協調性を養う。
	10月	準備 収集 実践	<ul style="list-style-type: none"> 探究を進める 平和学習 	2	班単位（教室） 組単位（海外）	<ul style="list-style-type: none"> リサーチに基づく論理的な意見の構築と説明・表現の技術を習得させる。
	11月	準備	<ul style="list-style-type: none"> 説得力のある発表の仕方について学び、練習する。 	4	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに探究の成果としてスライドを作成する。
	12月	実践	<ul style="list-style-type: none"> スライドをクラス内・クラス間で発表し、優秀作品を選出する。 	3	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> 他の発表に対し、評価・分析する態度を養う。
	1月	準備 実践	<ul style="list-style-type: none"> 研究の深化 発表準備 	4	班単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の記述方法・評価方法に個人レポートについて説明・指導する。
	2月	実践	<ul style="list-style-type: none"> 全体発表会 個人レポート作成 	4	班単位（教室） 学年単位（講堂）	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招聘し、課題研究発表会を実施する。
3月	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の振り返りと自己評価 	1	組単位（教室）	<ul style="list-style-type: none"> 1年を振り返り、自己評価をさせる。その評価をもとに、教員が評価する。 	
備考						